

青少年のための学校での実践における作業療法 Position Statement on Occupational Therapy Services in School-Based Practice for Children and Youth, 2016

この文書の目的についての概要

この文書が強調するのは、青少年の学校でのインクルーシブ教育のための作業療法の貢献である。世界作業療法士連盟(WFOT)は、インクルーシブ教育は、最高の交渉不要な権利である。さらに作業療法士は、作業的公正の一部として、彼らを選択する作業と学校環境において、すべての生徒が参加可能となるよう協働して取り組むための教育を受け技能を備えている(Tuning Project Group, 2008)(WFOT, 2010)。

WFOTは、世界人権宣言(国際連合, 1948), 児童の権利に関する条約(国際連合, 1990), 障害者の権利に関する条約(国際連合, 2006), を完全に支持する。障害者の権利に関する条約では、障害者を包容するあらゆる段階の教育制度を確保する(24条1項), 学問的及び社会的な発達を最大にする環境において、完全な包容(インクルージョン)という目標に合致する効果的で個別化された支援措置がとられること(24条, 2項 e)と述べられている。

とるべきポジションについての声明

作業の価値という作業療法の独自の焦点は、学校での実践に協働的貢献のための機会と、インクルージョンと参加と幸福に向かって取り組むための機会を創り出す。作業療法は、日常生活ですべてのレベルで作業剥奪を経験する人すべてに利用可能でなければならない。

作業療法にとってのポジションや問題の重要性についての声明

作業療法士の役割は、生徒の完全参加と幸福を可能にし、サポートし、推進することであり、これは、強みをサポートし、解決策を探し、学習活動の制限や参加制約を軽減したり除去したりすることによって行われる。これを達成するために作業療法士は、作業を基盤とした実践と、国際生活機能分類(青少年版)(WHO, 2007)の原則を使ったクリニカルリーズニングを具体化する。

学校を基盤とした作業療法は、クライアント中心で、解決に焦点を当て、強みを基盤とし、作業を基盤とし、協働的で状況を基盤とし、教育に関連するものでエビデンスに基づいている。作業療法は、教育システムのすべてのレベル(幼稚園, 小学校, 中学校, 高校, 大学, 職業学校, 成人教育, 生涯教育)をサポートすることができる(Frolek Clark & Chandler, 2013)。

介入のための反応(Response to Intervention)(Ardoin 他, 2005)のような段階的介入モデル, ピラミッドモデル(Fox 他, 2010), 変化のためのパートナー(Partnering for Change)(Missiuna 他, 2012)は、学校システムでどのようにサービスを構造化するかについてのガイドを示した例である。作業療法は、すべてのレベルでサポートの連続性を作ることで貢献する。こうした介入モデルは、サポートするレベルが、必要性に応じたものであることを確実にし、教室内だけでサポートが必要な人から、能力を最大化する個人別に考えられた戦略を必要とする人まで、すべてのクライアントに応用される(Missiuna 他, 2012)。

作業療法には、作業遂行と参加を最大化するために、学校を基盤とした実践において、切れ目のないサポートの連続のすべてのレベルで、集中的なサービスをますます提供していくという重要性がある。

社会にとってのポジションの重要性についての声明

生徒と同様に親と教育者は、学校で生徒の参加と幸福を拡大するために一緒に取り組むことによって利益を得る(Maciver 他, 2011)(Missiuna 他, 2012)。さらなる利益は、市民のための人権のサポート、アクセスと完全参加, 社会的・経済的・文化的自由である。また、排除, 周縁化, 障害者役割, 人間の潜在力がレッテルを貼られたり期待されないことを通して制限されていることからの自由である。

作業療法の社会経済的効果についての研究は、作業を基盤としたやり方を使うことが効果と社会的経済的利益があったことを示している。作業療法の学校での費用は、青少年の高まる生産性によって容易に補填され得るし、それは即時的にも将来的にもそうである(Case-Smith, 2012)(Lammers 他, 2014)。

このポジションの論拠

学校での作業療法についての文献は世界中から集まっており、最良の実践のための原則とアプローチが説明されている。この文献の歴史的レビューが示しているのは、学校での作業療法実践が医学モデルから

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-services-in-school-based-practice-for-children-and-youth> (2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

生物心理社会モデルに移行しているということである。作業療法士にとって学校での作業に焦点を当てることは、インクルージョンと参加を成果とする教育システムの方向性と適合している。研究は、作業療法が重要なファシリテータとなるような協働アプローチの効果を強調している(Missiuna 他, 2015)。

研究は、境界域にある子どもが重要な学校関連活動への参加が少ないという結果を示しており、これは彼らの将来に影響を与える可能性がある(ユネスコ, 2009)(ユニセフ, 2006)。Spirit レベルについての WHO の報告では、低い教育成果が健康結果に影響を及ぼすとされ、今のところこの理由は作業療法介入を正当化する(Picket & Wilkinson, 2009)。学校生活における作業遂行と参加を推進する学校での作業療法の効果は、いくつかの研究で示されている(Whalen, 2002)。

チャレンジとストラテジー

普及: WFOT は、会員組織すべてが、教育の参加と幸福に対するバリアの軽減と除去のための協働的実践としての学校での作業療法を推進することを奨励する。WFOT は、会員組織が、作業中心のサポートにおいて専門能力を探索するパートナーのための資源となることを奨励する。

教育: WFOT が承認した教育プログラムは、エビデンスから情報を得た実践と配置、最終プロジェクト、学生や新人の作業療法士のための大学院や修士論文のための機会を提供する。

研究: 研究は、学校生活における関連する作業上の成果と参加に焦点を当てた妥当なスクリーニングや評価の方法および介入を使ったり、その開発に参加したりすることを通して、最良の学校での実践の提供を確実なものとする。

会員組織: 会員組織は、最良の実践を提供するために作業療法士が専門職、親、生徒と協働するよう励まします。学校での作業療法士のための生涯に渡る学習機会を明確にする教育システムを作るようにする。作業療法組織と WFOT の会員は、学士や修士の課程において学校での対象においてエビデンスから情報を得た教育をするよう主張する責任がある。これは、学校での実践におけるすでに卒業している作業療法士の更なる専門性を高める機会を提供することでもある。

結論

WFOT は、作業を基盤とし、教育的に関連するアプローチを承認する。これは、すべての生徒が日常の学校での作業を遂行することをサポートするという国際連合と世界保健機関により主張されているものでもある。作業療法士は、すべてのレベルでのサポートの連続性において学校での実践を提供することにより、インクルーシブな教育をサポートする。作業療法士は、作業の可能化のための必要な協働的サポートを提供し、すべての生徒および特定の教育ニーズのある生徒たちの参加のバリアの軽減や除去を行うことができる。

世界の政策決定者は、すべてのレベルにおける教育をインクルーシブにする助けになるよう教育管轄部門と共に取り組むために、地域に根ざしたりハビリテーションの役割を推進している(世界保健機関, 2010)。それゆえ、教育の規則には、教育サービスと作業療法サービス間の協働的実践についての文言を含まなければならない。

さらに詳細な情報や用語については、次の「学校での実践における作業療法に関する文書(Supporting Document on Occupational Therapy in School Based Practice)」を参照されたい。

References and Resources

- Ardoin, S., Witt, J., Connell, J., & Koenig, J. (2005). Application of a three-tiered response to intervention model for instructional planning, decision making, and the identification of children in need of services. *Journal of Psychoeducational Assessment*, 23(4), 362-380.
- Case-Smith, J. (2002). Effectiveness of education-based occupational therapy intervention on handwriting. *American Journal of Occupational Therapy*, January/February 56(1), 17-25.
- Fox, L., Carta, J., Strain, P., Dunlap, G., & Hemmeter, M. L. (2010). Response to intervention and the Pyramid Model. *Infants and Young Children*, 25(1), 3-13.
- Frolek Clark, G., & Chandler, B. (2013). *Best Practices for Occupational Therapy in Schools*. Bethesda: AOTA Press.
- Lammers, M., Scholte, R., & Berden, C. (2014). *Ergotherapie doet er toe. Sociaal Economisch Onderzoek*. Ergotherapie Nederland.
- Maciver, D., Owen, C., Flannery, K., Forsyth, K., Howden, S., Shepherd, C., & Rush, R. (2011). Services for children with developmental co-ordination disorder: the experiences of parents. (37, Red.) *child: care, health & development*, 422-439.
- Missiuna, C., Pollock, N., Levac, D., Campbell, W., Sahagian Whalen, S., Bennett, S., . . . Russell, D. (2015). *Partnering for Change: An Innovative Service with Relevance to the Special Needs Strategy*. Opgehaald van <https://www.canchild.ca/system/tenon/assets/attachments/000/000/955/original/PartneringforChangeServiceModelandSpecialNeedsStrategyMay42015.pdf>
- Missiuna, C., Pollock, N., Levac, D., Campbell, W., Whalen, S., Bennett, S., . . . Russell, D. (2012). Partnering for Change: An innovative education-based occupational therapy service delivery model for children with developmental coordination disorder. *Canadian Journal of Occupational therapy*, 79(1), 41-50.
- Pickett, K., & Wilkinson, R. (2009). *The Spirit Level*. United Kingdom: Penguin Group.
- Tuning Project Group. (2008). *Tuning Educational Structures in Europe. Reference points for the design and delivery of degree programmes in occupational therapy*. Bilbao: Universidad de Deusto.
- UNESCO. (2009). *Policy Guidelines on Inclusion in Education*. Opgehaald van <http://unesdoc.unesco.org/images/0017/001778/177849e.pdf>
- UNICEF. (2006). *The State of the World's Children 2006: Excluded and Invisible*. Opgehaald van http://www.unicef.org/sowc06/pdfs/sowc06_fullreport.pdf
- United Nations. (1948). *Universal Declaration of Human Rights. 10 december 1948*. Opgehaald van <http://www.un.org/en/universal-declaration-human-rights/>
- United Nations. (1990). *Convention on the rights of the child. 2 september 1990*. Opgehaald van <http://www.ohchr.org/en/professionalinterests/pages/crc.aspx>
- United Nations. (2006). *Convention on the Rights of Persons with Disabilities*.
- Whalen. (2002). How occupational therapy makes a difference in the school system: A summary of the literature. *OT Now, Mai/June 2002*.
- World Federation of Occupational Therapists. (2010). *Statement on occupational therapy*. Opgehaald van <http://www.wfot.org/Portals/O/PDF/STATEMENT%20ON%20OCCUPATIONAL%20THERAPY%20300811.pdf>
- World Health Organization. (2007). *International Classification of Functioning, Disability and Health, Child and Youth version: ICF-CY*. Genève: WHO press.
- World Health Organization. (2010). *Community-based rehabilitation: CBR guidelines*.